

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1 (論文) Effect of Absorption Behavior of Solubilizers on Drug Dissolution in the Gastrointestinal Tract: Evaluation Based on In Vivo Luminal Concentration-Time Profile of Cilostazol, a Poorly Soluble Drug, and Solubilizers.	共	平成 28 年 9 月	J. Pharm. Sci.	脂溶性で水に低溶解性薬物である <b>cilostazol</b> の吸収挙動に対する、可溶化剤の影響と、可溶化剤自身の挙動の関連性をラット <b>in vivo</b> 小腸吸収実験によって検討した。結果、可溶化剤自身の吸収性が最も <b>cilostazol</b> の吸収に影響を及ぼす因子であることが明らかとなり、このことは経口脂溶性薬物の開発に有用である可能性が示唆された。
2 (論文) In vivo evaluation of supersaturation/precipitation/re-dissolution behavior of cinnarizine, a lipophilic weak base, in the gastrointestinal tract: the key process of oral absorption.	共	平成 29 年1月	Eur. J. Pharm. Sci.	脂溶性弱塩基薬物である <b>cinnarizine</b> の吸収挙動に対する、過飽和、析出、再溶解の影響について検討した。その結果 <b>in vitro</b> における過飽和の安定性は <b>in vivo</b> での吸収性には影響しなかった。 <b>In vivo</b> での吸収性には再溶解の過程が最も影響しており、これらの結果は一連の過飽和過程を示す薬物の製剤開発に有用であることが示唆された。
3 ( )				
4 ( )				
5 ( )				